

西山堂病院

新型コロナワクチン4回目接種が開始

4回目接種について

○接種が受けられる時期

接種を行う期間は、令和4年5月25日から令和4年9月30日までの予定です。

○接種の対象

新型コロナワクチンの4回目接種の対象は、3回目接種又はそれに相当する接種(※1)から5か月以上が経過した下記の方です。

1) 60歳以上の方

2) 18歳以上60歳未満で、

・基礎疾患を有する方

・その他新型コロナウイルス感染症にかかった場合の重症化リスクが高いと医師が認める方

(※1) 次の方は、3回目接種に相当するワクチンを受けた方となります。ただし、日本で3回目接種について薬事承認されている、ファイザー社ワクチン(12歳以上用)、武田/モデルナ社ワクチン、武田社ワクチン(ノババックス)のいずれかを接種している場合に限りします。(※2)

(ア) 海外在留邦人等向け新型コロナワクチン接種事業で3回目接種を受けた方

(イ) 在日米軍従業員接種で3回目接種を受けた方

(ウ) 製薬メーカーの治験等で3回目接種を受けた方

(エ) 海外で3回目接種を受けた方

(※2) 復星医薬(フォースン・ファーマ)/ビオンテック社製の「コミナティ」及びインド血清研究所が製造する「コボバックス(COVOVAX)」を含みます。

○接種するワクチン

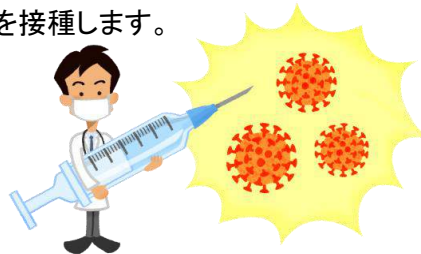
1～3回目に接種したワクチンの種類にかかわらず、メッセンジャーRNA(mRNA)ワクチンを使用します。

▷ファイザー社のワクチン(12歳以上用): 3回目接種と同量を接種します。

▷武田/モデルナ社のワクチン: 3回目接種と同量(初回接種の半量)を接種します。

○接種を受ける際の費用

全額公費で接種を行うため、無料で接種できます。



予防接種健康被害救済制度

接種を受けた後に副反応が起きた場合の予防接種健康被害救済制度があります。

一般的に、ワクチン接種では、副反応による健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあります。極めて稀ではあるものの、なくすることができないことから、救済制度が設けられています。救済制度では、予防接種によって健康被害が生じ、医療機関での治療が必要になったり、障害が残ったりした場合に、予防接種法に基づく救済(医療費・障害年金等の給付)が受けられます。新型コロナワクチンの接種についても、健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく救済を受けることができます。

ワクチンを受けた後も、マスクの着用など感染予防対策の継続をお願いします

新型コロナワクチンは、新型コロナウイルス感染症の発症を予防する高い効果が確認されていますが、その効果は100%ではありません。また、ウイルスの変異による影響もあります。このため、皆さまに感染予防対策を継続していただくようお願いします。具体的には「3つの密(密集・密接・密閉)」の回避、マスクの着用、石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒の励行などをお願いします。

西山堂慶和病院

2022年 7月1日（金）発行

新任医師自己紹介

今年の春より赴任した2名の医師による自己紹介です。



荷見 祥子

腎臓内科

初めまして。荷見祥子と申します。専門は腎臓内科ですので、今回は腎臓について少しお話をさせていただきます。

腎臓は背中側の腰の高さに左右1つずつあるソラマメのような形をした臓器です。「肝腎(心)要」という言葉がありますが、「じん」は元々は「腎」という漢字が用いられており、人体にとって極めて重要な臓器であることが昔から知られていました。その働きは大きく分けると①老廃物や余分な水分を排泄する②体内の水分量やイオンのバランスを調整する③血圧を適正に調整する④造血ホルモンを出して赤血球をつくる⑤ビタミンDを作って骨を作る、の5つです。

腎臓が悪くなると様々な症状がでますが、残念なことに末期腎不全(透析や移植など腎代替療法をしなければ近い将来死に至る状態)にならないと自覚症状は出ません。そして一度悪くなってしまうと改善することは少ないため、早期発見・早期治療がとても大切です。ではどのようにすれば防げるのか。生活習慣病が原因となることが多いため、減塩・バランスのとれた食生活・運動習慣を心がけ、定期的に健康診断を受けてください。人生100年時代へ向かおうとしている今、健康に過ごせるように是非一度ご自分の体を見なおしてみましょう。



鈴木 英一郎

糖尿病内科

4月より内科常勤医となりました鈴木英一郎と申します。外来では糖尿病患者さんを中心に診察しております。

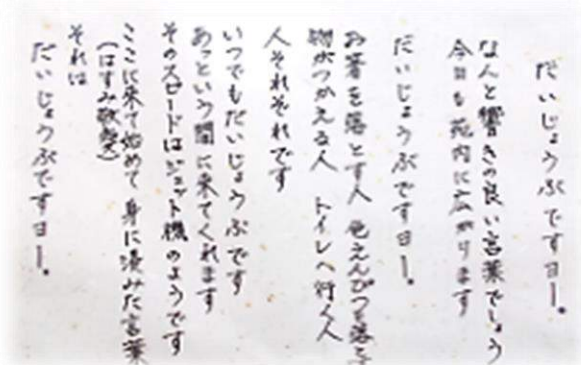
糖尿病は予備群を含め日本で約2000万人いるといわれ、当院にも多くの方が通われています。3大合併症として腎症・網膜症・神経障害は知られていますが、そのほかに肝臓病にも注意が必要です。肝臓の病気というと、肝炎ウイルスやアルコールがリスクとして知られていますが、肝炎ウイルスが制御されアルコール摂取量も減少傾向にある現在では、生活習慣病としての側面が強くなってきました。非アルコール性脂肪性肝炎と呼ばれる病態がそれで、放置すると時に肝硬変になることがあります。驚くべきことに、日本における糖尿病患者の死亡原因の第3位が肝関連疾患です。糖尿病患者さんはそうでない人と比較し、1.8倍肝がんになりやすいといわれています。

糖尿病、あるいは糖尿病予備群と言われたかたは、少なくとも年に1回は腹部超音波検査やCTなど画像検査を行うことをお勧めしています。当院は糖尿病学会認定教育施設であり、糖尿病になられてもチーム医療で対応できますので安心しておかかりください。

介護老人保健施設 はすみ敬愛

通所リハビリテーション

利用者様からお手紙を頂きました



スタッフ一同、身の引き締まる思いで
読ませて頂きました。

だいじょうぶですヨー。
なんと響きの良い言葉でしょう
今日も苑内に広がります
だいじょうぶですヨー。
お箸を落とす人 色鉛筆を落とす人
物がつかえる人 トイレに行く人
人それぞれです
いつでもだいじょうぶです
あっという間に来てくれます
そのスピードはジェット機のように
ここにきて初めて身に染みた言葉・・・
それは だいじょうぶですヨー。

リハビリ科 ～職員紹介～

初めまして。今年4月から西山堂慶和病院より異動となりました。
水野敬暁(たかあき)と申します。利用者様にとって心地良い施設生活となるよう
全力で「笑顔」と「リハビリ」を提供していきます。どうぞ、宜しくお願いいたします。



看護・介護課 ～施設活動紹介～



起きることが難しい方には、お部屋で
三味線の演奏をさせて頂きました。
三味線の音色がお部屋中に響き渡り
ました。

栄養課 ～行事食紹介～



お誕生会のケーキとして
苺のロールケーキを。
抹茶のロールケーキは
通所リハビリテーション
のご利用者様にご用意
しました。



4月・5月は国民の祝日がありましたので
お赤飯や三食丼をご用意いたしました。

ひたちの中央クリニック

クリニックからのお知らせ

子宮頸がんワクチン予防接種を行いましょう

令和4年4月から子宮頸がん予防ワクチンの接種勧奨が再開されました。また、積極的な勧奨の差し控えにより接種機会を逃した方も接種期限内であれば無料で接種できます。

○接種対象者：① 小学校6年生から高校1年生相当年齢の女子（16歳となる日の属する年度の末日まで）

② 定期接種の特例 …定期接種の機会を逃していた、平成9年度生まれ～平成17年度生まれの女性（令和7年3月31日まで）

※詳しくはお住いの市町村にご確認下さい。

○接種期間：通常、全3回の接種の完了までには約6か月の期間がかかります。

○ワクチンの種類：当院はガータシル(4価)での接種となります。

○接種回数：接種回数は3回です。 2回目：1回目の接種から2か月後
3回目：1回目の接種から6か月後

◎当院は予約制ですので、お電話または窓口でのご予約をお願い致します。



～ 子宮頸がんワクチンの有効性 ～

子宮頸がんは子宮の出口付近にできるがんで、そのほとんどは HPV(ヒトパピローマウイルス) と呼ばれるウイルスに持続的に感染することで発症します。

日本では20代から40代を中心に患者数が増えている、厚生労働省によると、毎年およそ1万人以上の女性が子宮頸がんになり、およそ3千人近くの方が亡くなっています。

女性の50%以上の方が、生涯で一度は感染すると推定されていて、予防としてワクチンの接種が最も有効とされています。

3回接種することにより子宮頸がんの原因となるHPVウイルスの感染率が50%から70%を防ぐことができるといわれています。



新任非常勤医師のご紹介

4月より新しく外来診療を行っている先生方です

● 上原 大毅 医師 (循環器内科) 毎週月曜日(PM)	● 津久井 宣博 医師 (循環器内科) 毎週火曜日(1日)	● 門間 直大 医師 (呼吸器内科) 毎週火曜日(1日)	● 中田 信之 医師 (一般内科) 毎週水曜日(1日)	● 稲井 一貴 医師 (血液内科) 毎週木曜日(1日)
------------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------

● 土曜日(循環器内科)：吉川 将史 医師(第1週)／南 義成 医師(第2週)／亀谷 智子 医師(第3週)／秦 武弘 医師(第4週)／任(イム) 芝杏(チヘン) 医師(第5週)

クリニックトピックス

血液内科の先生が着任して診察を行っています

血液内科は、貧血、白血病、免疫異常、血小板減少症、リンパ種、骨髄腫、骨髄異形成症候群、骨髄増殖性疾患など、血管の中を流れる血液成分や血液細胞を作っている骨髄、そしてリンパ節等の異常による疾患に対し、薬物および化学療法で治療を行う診療です。

1 血液検査などで貧血、白血球数、血小板数の異常を指摘された

2 鼻血などで血が止まりにくい

などの症状がありましたら、お気軽にお声掛け下さい。

